岡山県立倉敷まきび支援学校同窓会会則

- 第1条（名称） 本会は岡山県立倉敷まきび支援学校同窓会と称する。事務局を同校内に置く。
- 第2条（会員） 本会は、本校の肢体不自由部門・知的障害部門を卒業し、入会を希望する者とする。
- 第3条（目的） 本会は会員相互の親睦と交流を深めることを目的とする。
- 第4条（事業） 本会はその目的を達成するための事業を企画する。
- 第5条（運営） 本会の運営は総会と理事会で行う。
総会・・・役員を選出・事業計画・会則の改正
理事会・・・本会の日常の運営について相談
総会及び理事会は、真備・船穂総おどり当日に開催する。
その他必要な場合は、適宜開催する。
同窓会の案内配付は入会后3年間までとし、
4年後からは各学年の代表者が中心となって会を企画する。
- 第6条（役員） 本会は次の役員をおく。
1 会長	1名
2 副会長	1名
3 理事	若干名
- (1) 会長は会を代表し、会をまとめる。
(2) 副会長は、会長を助ける。
(3) 理事は、日常の会の運営にあたりとともに、会計監査を行う。
必要な事務を行う事務局員として、理事と学校職員の中から若干名を会長が委嘱する。
同窓会事務局代表者として、倉敷まきび支援学校高等部（知的障害部門）教頭を委嘱する。
(代表者) 原則として各卒業年度より1名以上その年度の代表者を選出する。代表者は、必要に応じてその年度の会員との連絡、調整をする。
- 第7条（会計） 本会の運営のための通信費等の経費は、当分の間、入会金を充てる。入会金は1,000円とする。
本会の行事にかかる経費は、別途参加者の負担とする。
- 第8条（付則） 会員の保護者には、代理人の資格を認める。
本校に在職した教職員のうち希望する者については、賛助会員とし、入会時に賛助会員費として1,000円を徴収する。

本会則は令和6年7月13日より施行する。